
白刃鬼 娯

創離

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白刃鬼 娯

【Nコード】

N7482U

【作者名】

創離

【あらすじ】

白刃鬼事件。その2年後、事件を追う一人の教授がいた。白刃鬼
花山由香子編、完結

（前書き）

とりあえず、花山編これで完結です。

「——と言うのが、あの日起こった事のすべてよ」

「ふむ、興味深い」

橘の話は30分ほどで終わった。そしてそのすべてが興味深かった。

「それにしても、まさか自殺ではないと……」

刑事のカンを否定する立ち位置だったが、これからは考えを改めなくてはならないな」

まったく

「私のカンもよく当たる。まさか一人目で当りを引くとは」

「カンだったんですか?!」

鳴海君がつっこむが、ふ、今日は機嫌がいい。許してやるか。

「カンだ! カンで目を付けカンで橘に話を聞いた」

半分冗談だが。まあ、別に言わなくてもいいや。

「はあ、分かりました。あなたはそう言う人でしたね」

「ああ、そう言う人だったんだ」

「それで、お話のお礼は?」

橘はお礼を催促してきた。

「ああ、すまないな。忘れていた」

私は書類の束を鞆からだし渡してやる。

「それじゃ、貴重なお話ありがとう」

「いえ、こちらこそありがとう」

私たちは会社を後にした。

「で、あれ何だったんですか?」

「あれとは何だね。どれの事かね」

「橘社長に渡してたあれですよ。何か書類渡してたでしょう」

「あー、あの書類か。紙だ」

「教授く?!」

「ははは、すまないすまない。」

なに、あの若さで会社の社長が務まると思うかい？

あれは会社の経営にかかわるゴタゴタを解決するために、私がコネの全てを使って用意した貴重な書類だよ。内容は割愛するがね」

「はあ」

「相手は会社の社長だよ？ そのくらい用意しないとアポなんか取れないよ」

「そりやそうですね。まあ、いいです。それじゃ、今日の話から何か分かりましたか？」

「沢山の事が分かったが……一番は井上美月の他殺説か」

「あれはどういうことなんでしょう？」

端的に言うなら、井上美月は自殺ではなく他殺だった。

そう、2年前、あの夜に井上美月は殺されたのだ。白刃鬼に。

「警察のデータが改竄されていた。それだけの話だよ」

「何のためにですか？ やっぱり模倣犯を出さないために？」

そりやたしかに夜の街の裏で斬り合いしてたなんて言ったらあれでしょうけど」

「それもあるだろうが、違うな。一つ思い当たる節がある

まったく、大学の教授とはこんなに便利な仕事だったとは」

「何言ってるんですか？ 言っときますけど、教授全員あなたみたいな訳じゃないですからね」

「だが、私のコネがこの立場だから築かれた事も事実だよ」

愉快だ、まさか本当に『あれ』を使うとは……。

「いや、まだ使ったどうかははっきりしないな。もう少し証拠が欲しい」

「何言ってるんですか、教授」

「捜査はこれで打ち切りだ、鳴海君。もう、君は来なくていい」

「は？ 何ですか」

「そうだ、最後に一つ。件の白刃鬼だが」
スルースキルは低い訳じゃないのだよ。

「2年前に事件だと君は言ったが、私の推測が当たっていれば現在もその裁きは続いているよ」

「え？」

長居は無用、こんな事件一生に一度出会えるかどうかの事件だ。

……ならば私も全てを賭けよう。

「帰るぞ、鳴海君」

私は席を立つ。

「支払いはこれで済ませておけ」

「一万円も掛かりませんよ?!」

「構わん、釣りは君にやる」

「すげえ！」

「それから」

「さようならだ、鳴海君」

「え?! 何か言いましたか? 教授」

「何でもない、早く支払ってきたまえ」

私は鳴海君を店に残し一人家に帰る。

白刃鬼……ブレイドⅡシステムの亡霊を追って。

（後書き）

全五話にわたるプロローグは終り、ついに物語はその全貌を露にする『綺羅々』編、てな感じになればいいなあ。と言う感じで綺羅々編頑張ります。

余談ですが、花山は自分の楽しい事だけをするというキャラを目指して書いたので、彼女の完結話である5話を娛にしたのは我ながら好きなタイトルです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7482u/>

白刃鬼 娯

2011年10月9日00時56分発行